

令和4年度 第1回山ノ内町都市計画審議会 議事要旨

開催日・出席者等

開催日時 令和4年5月20日(木) 午後2時から午後3時

会場 山ノ内町役場 401会議室

出席者 審議委員6名 (敬称略・順不同) 所属/役職/氏名

- 山ノ内町農業委員会 委員長 山本 善孝
- 山ノ内町観光連盟 事務局長 藤澤 光男 (代理)
- 北信建設事務所 建築課長 小林 博幸
- 山ノ内町議会 議長 高山 祐一
- 山ノ内町議会 副議長 徳竹 栄子
- 山ノ内町議会総務産業常任委員会 副委員長 山本 岩雄 (代理)

事務局3名

- 山ノ内町建設水道課 課長 山本 和幸
- 山ノ内町建設水道課 計画監理係長 成澤 高幸
- 山ノ内町建設水道課 計画監理係 古幡 政樹

事務局補助2名 (株式会社国土開発センター)

傍聴者1名

会議事項

○協議状況 (議事要旨)

1 開会 山本建設水道課長

- ・山ノ内町都市計画審議会条例第6条の規定により、審議会は、委員半数以上の出席で成立し、本日は全員出席のため成立している旨の説明。
- ・本日の審議会は公開である旨の説明。

2 副町長あいさつ

3 委員紹介

4 諮問

都市計画マスタープランの改定について

- ・副町長から会長代理へ諮問書が手渡される
- ・諮問後、副町長は別公務の為、退席

5. 議 事

(1) 議事録署名人の指名

- ・高山 祐一委員
- ・徳竹 栄子委員

(2) 都市計画マスタープラン改定について

- ・事務局から都市計画マスタープランの改定について、都市計画マスタープランの概要と現時点の進捗と内容、策定までの今後のスケジュールを説明。

[質疑]

(山本岩雄委員代理) 4-1 「都市整備の課題」 (2) 「道路交通ネットワークが充実した

まちづくり」について、「他都市との広域連携」との記載があるが、他都市というのは具体的にどこを想定されていますか。

(事務局) 他都市は中野市や木島平村などを想定しております。

(山本岩雄委員代理) 現在国道292号、403号で結ばれている都市のことですね。将来的に須坂市や小布施町などもっと広域に結ぶことは考えてはいないのですか。

(事務局) 須坂市や中野市との人の行き来はありますので広域的な連携として図る必要があるのではないかと思います。近隣都市だけでなく北信地方ともつながっている部分がありますので、そういった意味では広域的な連携も進めていきたいと考えております。

(事務局) 都市計画マスタープランにおいて道路の整備促進をしていく延長線上に、小布施町や須坂市、長野市、草津町などがありますので、整備を進めていく中で幅は広がっていく内容だと思います。「都市整備の課題」のところでは、あくまでも現状と課題を示しておりますので、広域連携を図っていく中で連携する都市の幅を広くしていかなければいけないと思っています。

(高山委員) 資料のなかで「安心・安全」と「安全・安心」という言い方があるのです。これは統一した方がいいと思います。

(事務局) 承知致しました。

(高山委員) 地区別懇談会ではこの資料を使うのですか。

(事務局) 今回の資料とは別の資料となり、各地区に合った説明資料にて実施します。

(高山委員) そのときには統一していただいた方がいいかなと思います。

(事務局) 承知致しました。

(山本岩雄委員代理) 6-2「(5)森林地域」では、北志賀高原で「交流促進と観光保全が調和」とあります。また、6-4「(2)都市環境の形成」では、「山ノ内町地域新エネルギービジョン」に基づく重点プロジェクトの実施、温室効果ガスの排出抑制とあります。大まかな方針は記載されているのですが、具体的な内容はどのように示されていくのですか。

(事務局) 具体的な内容は計画書本編でお示ししていくことになります。また、現在は第4章「全体構想」までのご提示となっておりますが、今後作成して参ります「地域別構想」の内容で具体的に記載することになります。

(山本岩雄委員代理) 全体構想の内容を基に、これから具体的に検討していくと解釈してよろしいでしょうか。

(事務局) その通りです。

(高山委員) 9ページ「(2)気象」のなかで、「果樹栽培やそば」は山ノ内の特産ということだと思いますが、「きのこの等の農業生産に適した環境」については、きのこに気象は関係あるのかと思ってしまいました。現在はほとんどハウス内で栽培しているのではないのでしょうか。例えば、外で種を植え付けてということであれば分かるのだけでも、シメジやエノキの栽培には気象が関係ないのではないかと感じてしまいました。

(山本善孝会長代理) 「各種野菜」に修正すると良いのではないかと。

(事務局) 承知致しました。

(小林委員) コンパクトシティというのは、今後人口が減少していく中で道路など整備する部分もコンパクトにしていけないといけないということも含めて大切なことではあると思うのですが、16ページの町民アンケート調査結果をみると、住民の方はコンパクトなまちづくりというのはどちらかという望んでいない。どこでも暮らせる町ということ望んでいるというふうに取り出せるのです。

一方で、コンパクトシティを進めていかなければいけないとは思いますが、お聞きしたいのは、30ページ「将来都市構造」農村集落についてです。例えば町を1カ所、2カ所に集約するのではなく、農村集落をネットワーク化するというようなお考えはありますか。農村集落はおおよそ何か所程度あるのか、そういったものをネットワークで結ぶようなまちづくりというのは、お考えとしてあるかということをお聞きしたいです。

(事務局) 農村集落というのは町の西部と南部、東部にもあります。そこはJAなどの組織や振興会などのネットワークは既に形成されております。それぞれの取り組み内容についても情報共有を行っております。

(小林委員) ネットワークというのは道路や公共交通などそれぞれのエリアをつなぐハードな部分についてです。「楽ちんバス」は町内全域を走っているのですか。

(事務局) 全域を走っています。

(小林委員) 路線としては何路線ありますか。

(山本善孝会長代理) 西北部と南部と、2系統で1日4本運行しています。

(高山委員) 既存の長野電鉄のバスが走っていない範囲の2系統で運行しています。

(小林委員) そうなのですね。18ページ「調査結果まとめ」では、道路などのハードな部分に関する記載がなく、空き家対策であるとか医療、子育てというふうに書かれています。バスでは結ばれているとのことですが、コンパクトシティという部分が見えてこないなと思いました。

6. その他
なし

7. 閉 会 山本建設水道課長

以上

議事録署名 _____